安·西南学院大学· 区 主作学

No. 4 9

1971年2月5日発行

福岡市西新6丁目

西南学院大学図書館

亥の子のことば



館長清田正喜 学術研究の急速な進展に伴い、その成果の量はとみに激増した。これらの情報資料を的確・迅速に処理し整備するのが図書館に課せられた使命である。研究が推進されると教育の実もあがってゆく。本学図書館はこの現状に対応するためには、まず5階の内装が急がれる。そこには共同研究室とか特殊資料室なども要望される。また事務能率の向上を図って二課制(一案として図書課と情報活動課など)も必要である。今年も課題は山積しているが、要は前進の一語に尽きると思う。

司書長 山下 和夫 今年のえとは亥であり、したがって卦も「すべからく猪突猛進せよ」と出た。さて、それでは何に向かって猛進するか、さしづめ独身ででもあれば異性に向かうこともできようが、こちらはそうもいかぬ。仕事の中から選ぶとすると、課題はどうしてもコンピューターの活用となる。世はあげて情報化時代。その洪水をコンピューターを駆使して乗り切ろうというわけだ。こういう文献が欲しいといえば、直ちに機械が教えてくれる。となれば、利用者はどんなにか便利だろう。今年はひとつこれを手掛けようと考えた。「一寸盲信」でしょうか。

司 書 杉本 善夫 今年は我輩の年である。むかしから亥年生れの者は猪突猛進、向う見ずに突きかかるなどと芳しからぬ評価をされているようで、そのためか故事・伝説はあまり信用しないことにしている。むかしから言い習わされていることは妥当性が多いと周囲からたびたび聞かされるでとに反発すると、やっぱりあたっていると言わ

れるので、この点に注意するよう自分に言いきか せている。

司 書 伊藤 治生 最近の図書館は文献量も利用者も大幅に増大し、従来のようにただ目録だけに頼っていたのでは、必要な文献に到達することが困難な状態になってきました。そのため利用者と必要な資料とを結びつけるための人的なサービス体制を組織的に確立すること(レファレンス・サービス)が必要となってきています。今年はこういった方面にも図書館の活動を広げていきたいものだと思います。

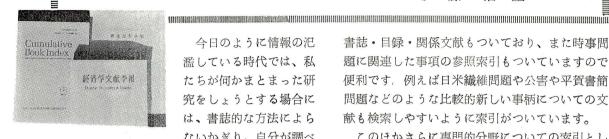
司書 広津 義純 元旦8時、気がついてみるとまだ眠っている。眠ったままで図書館に出勤。事務室が広く見える。机の上あちこちに置いてあった未整理図書がなくなっているのである。そうか昨年の暮までに整理をしてしまったのか。6日朝平常通りに出勤。事務室の様子が一変している。未整理図書棚に図書があふれている。 *図書館殺すにゃ刄物はいらぬ、大学院の一つも設ればいい。という猪の言は名言であった。

司 書 槇 養 — ことしは、「猪」年のかたがたの年です。不肖私も、その一人です。俗に、猪は、猪突猛進といって軽んじられていますが、私は、猪の勇猛さを認めながらも、一方では、家康の「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし。急ぐべからず」や、ローマ初代皇帝、アウグスッスの座右の銘「Festina lente」(ゆっくり、急げ)つまり、着実に、休みなくという意味です。などなどを考えております。

(司書会メンバーより)

索引・書目の利用について

伊 藤 治 牛



今日のように情報の汜 濫している時代では、私 たちが何かまとまった研 究をしょうとする場合に は、書誌的な方法によら ないかぎり、自分が調べ

たいと思っている分野のあらゆる文献に接すると とは困難な状態になってきています。尨大な文献 の中から必要なものだけを調べる方法によってこ そ効果的な研究を進めていくことができるといえ ましょう。

こういった書誌的な手がかりとなるものに索引 (Index) があります。本来、索引とは書物の中 にでてくる事項や人名などを一定の順序に配列し て、その書物の中における所在を示すもので、一 つの書物に限られたものと、同類の書物の総合索 引とがありますが、ここでは後者の総合索引類に ついてのべてみることにいたします。

ある研究テーマについて資料を調べる場合その 主題についての総合索引があるとないとでは、調 査・研究の進めかたに影響があるばかりか、その 成果に非常な関係がある場合があります。殊に最 近では主題のテンポが早くなり、新しい問題につ いて研究する必要が多くなっているようです。こ のような場合、現在日本では図書についての文献 を調べるための総合索引は、限られた特定分野の ものを除いては殆んどでておりませんが、雑誌論 文についてはいくらかありますので、その代表的 なものを二、三簡単に紹介してみます。

先づ国立国会図書館からでている *雑誌記事索 引、があります。これは国会図書館で受入れられ た邦文雑誌の記事を収録したもので、分類された 主題でとに、それに関連した学術論文が著者、論 文名、掲載雑誌名、巻号および頁の順 に 記 載 さ れています。従ってこれを見れば、ある主題につ いてその期間内にどのような研究論文が発表され ているかがわかります。なお巻末の書誌の項には

書誌・目録・関係文献もついており、また時事問 題に関連した事項の参照索引もついていますので 便利です。例えば日米繊維問題や公害や平賀書簡 問題などのような比較的新しい事柄についての文 献も検索しやすいように索引がついています。

このほかさらに専門的分野についての索引とし て代表的なものに *経済学文献季報、がありま す。経済学文献季報には、経済学とこれに関係あ る分野の内外の雑誌に掲載された論文と記事およ び邦文の単行書まで収録されています。従って収 録件数は雑誌記事索引よりもはるかに多く、くわ しくなっていますが、これは専門分野の索引です から当然といえましょう。

このほか各大学の論集・紀要に逐次発表されて いる論文の中に必要な文献をさがす場合の手がか りとなるものに、富士短期大学からでている *文 献ジャーナル、があり、全国の大学の論集・紀要 の目次が紹介されています。

次に外国の代表的な索引についてのべてみます と、欧米では索引の作成方法が進んでいるせいか 図書についてもすぐれた総合索引がでています。 その一つに *Cumulative Book Index 。 が ありますが、これはアメリカの Wilson 社から だされている索引で、英語で書かれた世界中の出 版物について収録されており(ただし政府刊行物 やパンフレット類は除く)著者、書名、主題のい づれからでも検索されるようになっている索引で す。なおこの索引の特徴は、半年および2年でと に Cumulate されたものが、また新しく編集し なおされて出版されるもので、まとまった期間内 における文献を調べるのには大変便利です。

索引と同じように文献探索の手がかりとなるも のに書目があります。書目は目録ともいい、書誌 的な説明のくわしいものは書誌と呼ばれることも あります。

一般には所蔵目録がこれにあたりますが、ここ では一般的によく利用されているものについて紹 介してみます。 *学術雑誌総合目録、これは文部 省から発行され (次頁上段へ続く)

(前頁下段より)

ているもので、全国の大学や研究機関が所蔵している学術雑誌の所蔵事項が収録されていますので、必要な文献についてこれを調べればどこでこれが所蔵されているかということがわかり便利です。これは総合的なものですが、一つの図書館の所蔵目録のようなものもたくさんあります。国会図書館の〝欧文逐次刊行物所蔵目録〟や、〝新収洋書総合目録〟などがこの種のものです。

こういった書目類は非常に多く、*出版年鑑。や*官庁刊行物総合目録。、などのほか*戦後法学文献総目録》といった専門的なものまでいろいろあります。

以上はすべて本学図書館に所蔵しているものばかりですが、なおこういった索引・書目類の充実が望まれています。

卒業後の図書館利用手続

本学卒業生は、一定の手続きを経て、図書館を利用することができます。次の手続きに従って研究・調査・教養向上などに大いに利用してください。

- ① 利用希望者は、特別利用者規則の定めるところに従って、次に掲げるものを提出しなければなりません。特別利用許可願1通、卒業証明書または勤務先証明書その他本人の身分を証明するにたる書類1通、上半身名刺型写真1、その他館長の必要と認める書類、手続料金100円
- ② 手続きを完了した者には特別利用者証(1ヵ月間有 効)が交付されます。
- ③ その他は学生利用規則が準用されますから、在学中 の手続きと変りません。

高良山の平家物語

文学部講師 山 中 耕 作

筑後一の宮 高良大社には、覚一本平家物語がある。 旧国宝だが、どういう因縁で同社に伝来したのか、そ の背景がよくわからない。

ところが、最近発見された高良記(中世末の縁起書) には、琵琶法師に関する伝承が記載されていた。すな

わち、高良山には百塔なる祀堂があり、ここに本家・領家2座の座頭が集まって唱導をしていた。開基は蟬丸とあり、高良山に下向したとき、京の因幡堂の薬師を勧請したという。また神籠石の脇に四ノ宮があったというが、中世末山城国山科庄の四宮河原で、年に2度、座頭を集めて般若心経1万巻を読誦し平家物語を演奏していたのと通じはすまいか。

さて、高良庄の本家は後白河院の長 講堂、領家は醍醐寺三宝院で、応永14年(1407)の長講 堂領目録に「一、長講堂領 筑後国高良庄 三宝院殿年 貢米二百石」とある。高良庄の立券年代は不明だが、 表白集(続群書類従所収)には、文治4年(1188)三 宝院の勝賢が、高良社に大般若経1部600巻を施入し たとあるので、文治に近いころ、高良庄領家職が後白河 院から三宝院に寄進されたのだろう。その後の醍醐寺 文書にも「院領筑後国高良庄」と見えるので、長講堂・三宝院と高良社との関係は持続していたらしい。しかし長講堂の直接の領地支配は、九州では元寇の役(1274ごろ)以後はしだいに終わっていった。神社

の維持を庄園制に依存できなくなると、各地の寺社は、 かわりとして本家・領家ゆかりの遊行の唱導者を利用 し、自ら経営を守ることになった。唱導によって彼ら が集めてきた金は一山をうるおした。

こうして筑後も八幡系、熊野系・高野山系・黒谷系

の唱導者が集まって盛況を呈した。瀬 高の幸若舞・大善寺の美麗田楽・善導 寺の琴などの諸芸能に、高良山百塔の 琵琶も交っていた。当道要録(琵琶法 師の故実書)に「延元四年(1339)二 月十六日明石検校(覚一)為南帝(後 醍醐)御追福百塔供養」とあるのは、 高良山の百塔に集まった座頭たちも、 覚一に近い者であったろう。そして彼

らの唱導が、覚一本平家物語によっていったとも考えられるであろう。これはまた、平家物語の唱導文学たる一面をうかがわせる手掛りにもなる。文学伝来のあり方には、こうした新しい資料によっても組み立てられていく方法があるようだ。

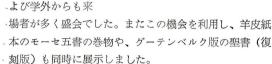
(写真は高良大社蔵 覚一本平家物語)



<= 1 - 2>

国連関係資料およびユダヤ教に関する文献展示会

- 昨年11月10日(火)~12日(木)の期間、図書館1階
- の国連資料室で、
- 国連関係資料およ
- 、びユダヤ教に関す
- る文献の展示会を
- ・催しました。
- 、丁度、大学祭の 、期間中で、学内お



図書館委員会

45. 11. 5 (議題) ①昭和46年度図書予算について ②図書館の2課制について

45. 12. 11 ①学生利用規則改正案について ②昭和46年度図書の購入方針について

職員会

45.12.2 ①旧教職員の特別利用の取扱い ②昭和46年度からの予算費目の変更 ③学生の貸出 期間延長案 ④業務研修発表(河内)

司書会

45. 10. 19 国連資料展示会計画の件

45. 10. 28 週刊誌の取扱い方法の件

45. 11. 4 2課制の実施計画の件

45. 11. 27 図書予算の区分方法の件

45. 12. 3 総記関係図書の選択の件

45. 12. 10

45. 12. 18 図書館報編集案の件

研修・出張

文部省大学図書館職員講習会 45.10.6~9

(於九州大学)受入整理業務の改善・レファレンス • サービスと二次資料の利用法について研修。広津 司書出席。

全国図書館大会 45.11.11~13 (於広島市)

大学図書館部会において、「大学図書館間の相互協 力ならびに大学の研究と教育に対する大学図書館の あり方とその改革について」協議。とくに、図書館 業務の機械化問題について、国会図書館および京都 産業大学における機械化の現状が報告された。清田 館長(議長をつとめる)、山下司書長出席。

私立大学図書館協会西地区部会 45.11.20~21

(於神戸女学院大学)「大阪の郷土史について」「ポ ーランド大百科事典の編さん活動 | その他の研究発 表あり。杉本課長補佐出席。

西南地区研究会 45.11.27~28 (於九州産業大学)

「国連関係資料の整理と利用について」 (伊藤) そ の他の研究発表あり。山下司書長、伊藤課長補佐出 席。

福岡地区研究会 45.11.17、45.12.8 (於九州芸術工科 大学) Wilson Index の利用 (川上繁治氏)、国 連資料の整理と利用(伊藤治生氏)について研修。 伊藤、広津、槇司書出席。

新規購入和雑誌

外国為替(季)

日本の美術(月)

解 釈(月)

労働広報 (月2)

キリスト教保育(月)

ソフトウエア科学(月)

鉱山地質 (年6)

- 告知板----

試験期の開館時間延長

1月13日(水)から2月9日(金)まで試験期の ため1階学習室を午後9時まで開きます。開架閲 覧室は平常どおり午後6時までです。

〇 春休長期貸出

2月4日(月)から実施。冊数は3冊以内。期限 は、卒業予定者は2月末日まで、それ以外の人は 4月26日 (月) まで。

○ 春休中の開館予定

2月11日(月)から4月16日(金)までの期間、 午前9時から午後5時まで開架閲覧室を開きま す。学習室は閉室します。ただし、

2月23・24日 (火・水) 入学試験のため閉館。

3月12日(金)~18日(木)在庫調査のため開 架閲覧室を閉室。その間学習室を開きます。

(あとがき)

この号には司書会のメンバーによる年頭の寸言を掲載 したものの、はからずも発行が遅れてしまいました。

学期末の試験も今やたけなわで、毎日、満席の掲示が 出される盛況です。ロッカーも不足ぎみで、利用者の皆 さんにご迷惑をおかけしていることと思います。

この図書館報も号を重ねて、次回はいよいよ50号とな りますので、特集号として計画しています。ご期待くだ (伊藤) さい。

自 昭和45年4月 ~ 至 昭和46年1月

(敬 称 略)

吾郷健二講師より 通商白書 昭和43年・昭和44 年、経済循環の構造、国民所得分析、世界大思 想全集18、資本の純粋理論

青森県企画部統計課より 青森県民所得統計 昭和43年度、生産額総覧 昭和45年度

千葉県企画部統計課より 千葉県勢要覧 昭和44 年度版

貯蓄増強中央委員会より 貯蓄に関する世論調査 昭和45年

中小企業金融公庫調査部より 設備投資動向調査 報告

福岡県企画開発部調査統計課より 福岡県の工業 福岡県教育庁社会教育課より 新収図書目録 第 4集

福岡県農政部参事室より 福岡県農業情報 昭和45年度

福岡県労働部労政課より 福岡県労働組合名鑑 昭和45年度

福岡市より 福岡市史 第5巻 原田三喜雄教授より アメリカの日本研究 ヘルデル代理店より 相愛こそ唯一の真理 比較民事法研究所より Meine Theorie zur Lehre der Entscheidung

北辰内 論説資料保存会より 中国関係論説資料 第1号~第10号

法曹協会より 法と人権 No. 3

石川県より 白山の自然

科学技術庁情報処理システム研究会より 情報処理システム研究会報告 昭和44年・昭和45年 梶原禎夫先生より Oxenfeldt, A.R.:

Pricing for Marketing Executives

神奈川県企画調査部統計調査課より 工業生産統 計調査結果報告 昭和44年

関西学院大学文学部より 創立八十周年関西学院 大学文学部記念論文集

気象庁より 大気放射能観測指針

北九州市より 第6回北九州市統計年鑑 昭和43 年度 高知県統計課より 高知県統計書 昭和44年度 国際電信電話株式会社より 衛星通信年報 昭和 44年度、国際電信電話年報 昭和44年度

厚生省大臣官房企画室より 所得再分配調査報告 昭和42年度

公正取引委員会事務局経済部調査課より 一般集中の現状と動向(資料編)、わが国における一般集中の現状と動向

熊本商科大学産業経営研究所より 蔵書目録 第 9 号

久留米大学より 回想記

京都府総務部統計課より 工業統計調査結果報告 書 昭和43年度

京都国立博物館より、高台寺蒔絵 天球院の障壁画 京都商工会議所より 京都府下における最近の賃 金指標 昭和45年度

協和銀行より 本邦貯蓄銀行史

九州地区大学一般教育研究会より 第十八回九州 地区大学一般教育研究協議会議事録

松井康秀氏より 豊前国企救郡長野城とその周辺 明治学院大学より 井深梶之助とその時代 第1 巻・第2巻

三重県企画部統計課より 三重県勢要覧 昭和45 年版

文部省より わが国の教育水準 昭和45年度 文部省大臣官房統計課より 学術研究に関する調 査報告書 昭和44年度、教育統計資料集 文都省史料館より 近世史料所在調査概要 長崎県総務部統計課より 長崎県統計年鑑 昭和 45年

奈良崎光利氏より 73-1821 (文学部仏語学科)
Nouveau Petit Larousse; en couleurs
Robert, P. - Dictionnaire alphabétique
& analogique de la langue francaise
日興証券株式会社より 日興証券株式会社50年史
及資料編

日本バプテスト連盟より バプテストの信仰と歴 史、第12回バプテスト世界大学

日本大学より 山田顯義伝

日本学芸協会より 絵本・童話・紙芝居 (スライド) の実技、保母資格試験受験者の手引 昭和 45年版、絵画・製作(造形) の実技、音楽・リズムの実技

日本放送協会より NHK年鑑 '70

日本空港ビルディング株式会社より 東京国際ターミナルビル15年の歩み

西日本宗教学会より 西日本宗教学雑誌 1970 農林大臣官房調査課より 食料需要分析 昭和44 年度

農林経済局国際部国際企画課より ドイツ・マルク切上げ後の国際通貨問題

大阪府企画部統計課より 工業統計調査結果表 昭和43年

大阪証券取引所より 株式分布状況調査 昭和44 年度

大阪糖業倶楽部より 浪華砂糖物語

「歴史の研究」刊行会より 歴史の研究 第12巻 労働省婦人少年局より 女子労働者の就労状況の 変化に関する調査 1969

三千院門跡出版部より 三千院談義集

姿勢研究所より 姿勢と生活 第6巻

食糧庁総務部調査課より 米麦等の取引価格年報 昭和44年度

創価学会広報室より 創価学会入門

総理府統計局より 事業所統計調査報告 昭和44 年 都道府県編 北海道・青森県・宮城県・秋 田県・山形県・福島県・栃木県・埼玉県・千葉 県・東京都・神奈川県・新潟県・富山県・石川 県・福井県・山梨県・長野県・靜岡県・愛知県 ・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・ 奈良県・和歌山県・島根県・岡山県・広島県・ 山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福 岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県、 科学技術研究調査報告 昭和44年、都道府県人 口の推計 昭和44年、全国年令別人口の推計 昭和44年 高瀬莊太郎先生記念事業会より 高瀬莊太郎 東京証券取引所より 東京証券取引所 20年史 東京都総務局統計部より 東京都区市町村勢要覧 昭和45年

東京都財務局経理府底務課より 財務局事業概要 昭和45年度版

富山県総務部統計調査課より 統計資料目録 第2集 昭和44年11月~昭和45年9月

東洋大学付属電子計算機センターより 経営システムの理論

八幡大学社会文化研究所より 民法論文集 上巻 下巻 各2部

